

令和元年度 職務経験者採用職員6人と前葉市長の座談会

7月8日に令和元年度職務経験者採用職員が、前葉市長と座談会を行いました。

各職場で即戦力として活躍中の6人が、津市職員になったきっかけや自身の経験を生かして取り組んでいきたい業務について、それぞれの思いを語りました。



職務経験
言語聴覚士として9年間
従事

職務経験
要支援・介護の認定を
受けた人の相談やサー
ビスなどの調整・計画す
る主任介護支援専門員

職務経験
文化ホール指定管理業務、
施設維持・運営事業

私たちが異業種から

思い立ったきっかけ

職員 他県で働き休日に津の自宅に帰るという生活をしていました。家族のそばで働くことを考えていたところ、職務経験者採用を見つけ、自分の経験が役に立てばと思い応募しました。

職員 12年間東京勤務でしたが、津市に住む両親が高齢になってきたこと、自然豊かな環境に住み、ふるさとに貢献したいという思いが強くなったことからUターンを決意しました。

職員 津市職員と仕事をする機会がありました。市民の意見を聞き、対応する姿を見て、自分も今までの経験や知識を地域のために役立てたいと思い応募しました。

職員 津市で新しいホール(久居アルスプラザ)ができることを知り、今までの文化施設で勤務をしていた経験を生かしたい、その経験を次世代につなげていきたいという思いが芽生え、応募しました。

職員 隣市まで車で約1時間かけて通勤していました。そのため、介護が必要な家族に何かあったとしてもすぐに駆け付けられないこと、また生まれ育った津市で、今までの経験を生かせないかと思っていたときに、広報紙で「求める人材例」として主任介護支援専門員が挙がっていたこともあり、応募しました。

やりがいを感じること

★総合病院から転職【言語聴覚士】

職員 児童発達支援センターで勤務しており、前職の医療分野から福祉分野に変わったことに戸惑いがあるものの、保育や生活に重きを置いたより広い視野を身に付けることができている。専門職として訓練や保育の場を通じた発達支援、後輩の育成などに注力しています。今後、園訪問による指導や支援センター外での教育など、幅広く活躍できる場を増やしていけることが楽しみです。

★主任介護支援専門員から転職【事務職】

職員 前職では主任介護支援専門員として現場で走り回っていましたが、現在は今までの経験を生かし、地域包括支援センターの取りまとめ役をしています。一つ一つの課題を解決していくことに難しさもありますが、やりがいも感じています。

市長 ぜひ、現場に出て、同様の職種の人々の悩みと一緒に考えて、解決してください。保育士や保健師、社会福祉士とうまく連携すれば新たな活躍の場が増えると考えています。まだ取り組めていない専門的な分野を伝えていくことで、福祉全体として底上げができ、二人の最前線での経験を活用できると思います。